

科目名：歯科診療補助論 I (Assisting for Dental Practice I) 履修年次/時期：1 年次 前期 授業形態：講義・演習 担当教員：片岡あい子（実務経験有）、井出桃（実務経験有）		必	2 単位
学修目的	この科目を通して歯科診療の補助の重要性を理解し、感染予防を含めた診療室における医療安全管理ができる能力を養う。また歯科衛生士は専門的な業務のみならず、医療人としての基本的なマナーを身につけることも大切である。そのため患者さんやスタッフとの対応法も学修する。 DP1,2,3 CP1,2,3,4,5 に関連する。 科目 No. S1C12H26		
到達目標	1. 歯科診療の流れを理解し、歯科衛生士による補助、介助の重要性を理解する。 2. 歯科診療補助の概要を理解する。 3. 診療室における感染予防対策および消毒・滅菌法を修得する。 4. 受付の事務的な業務を理解する。 5. 診療設備、薬品などの管理法を修得する。 6. 歯科用ユニットを操作し、診療を安全に行う準備ができる。 7. 共同動作を安全に行うことができる。 8. 受付対応の基本を理解し、患者さんに誠意ある対応法を修得する。		
授業概要	歯科診療補助の業務範囲について理解する。また感染予防や廃棄物の処理方法など診療室の医療安全管理について、演習（グループワーク、プレゼンテーションなど）を取り入れ学修する。さらに患者さんをはじめスタッフとのコミュニケーションを図るためには、基本的な作法を理解し身につけることが大切であるため、受付での窓口対応や電話対応を学び、具体的状況を設定し、ロールプレイで適切に対応できる能力を養う。		
評価方法	1) 筆記試験（80%） 2) 実習点（レポート提出、受講・演習態度、ルーブリック、ポートフォリオなど 20%） 以上を総合評価し、単位認定を行う。 課題に対するフィードバックは授業・演習時に行う。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。		
予習・復習時間	【予習】0.7 時間 【復習】0.7 時間		
教科書	A) 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社 B) 歯科衛生学シリーズ『歯科機器』一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社		
参考書	随時紹介します。		
問い合わせ連絡先	片岡：月～金 16:40～17:00 3号館 2 階研究室 kataoka@kdu.ac.jp 井出：月～金 16:40～17:30 3号館 2階研究室 ide@kdu.ac.jp ＊公務、会議等により変更させていただく場合があります。 不在の時にはメールにて連絡をください		